

輸送動向について（6月分）

平成26年7月

1. 輸送概況

今月は、中旬に北海道地区の大雨および東海道線人身事故の影響、さらに22日に発生した江差線貨物列車脱線事故の影響があり、月全体では高速貨167本が運休となった（前年は高速貨10本が運休）。

コンテナ貨物は、引き続きトラック不足による鉄道シフト等で出荷が好調な清涼飲料水を含む食料工業品、民間流通米が増送となった農産品・青果物等が前年を上回ったが、自動車部品が消費税増税による販売の減及び現地調達化の進展、エコ関連物資が災害廃棄物輸送の終了により、それぞれ前年を下回った。結果、コンテナ貨物全体では前年比100.8%となった。

車扱貨物は、石油が堅調であったものの、セメント等が工場の定期修繕実施等により減送となり、車扱貨物全体では前年比84.4%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,689	1,676	100.8%	5,189	5,045	102.9%
車 扱	519	616	84.4%	1,794	1,947	92.1%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増 減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	111	102	9	109.3%
	化学工業品	161	161	0	100.3%
	化学薬品	119	114	5	104.3%
	食料工業品	290	278	12	104.6%
	紙・パルプ	253	247	6	102.7%
	他工業品	127	135	-8	94.0%
	積合せ貨物	184	185	-1	99.5%
	自動車部品	64	76	-12	83.6%
	家電・情報機器	43	37	6	114.4%
	エコ関連物資	31	41	-10	74.9%
	その他	306	300	6	101.8%
	コンテナ計	1,689	1,676	13	100.8%
車 扱	石油	375	368	7	101.8%
	セメント・石灰石	46	110	-64	41.9%
	車 両	52	60	-8	87.1%
	その他	47	78	-31	60.0%
	車扱計	519	616	-97	84.4%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）